

飛翔

発行責任者
平塚MAC



学習会 美術鑑賞

華麗なるガラス工芸と

萬鉄五郎・岸田劉生

その仲間たち

初夏を感じる5月24日、平塚市美術館に17名が集合しました。

多くの作家の中、フランスのエミール・ガレは植物や昆虫などをモチーフにした斬新な作品が多く、エナメルと金箔を使った花器のそのデザインと色使いは美に見事なものでした。また

ました。また、日本の草分け的な岩田藤七と各務鑛三の作品は柔らかい味のある素晴らしいものでした。目で楽しめた展示会でした。

「ガラス工芸」でした。北海道立近代美術館所蔵の作品の中から、19世紀ヴェネツィアで製作された作品をはじめ、19世紀のアル・ヌーヴォーを経て現代のガラス作家まで約百二十点が展示されていました。

変ったものでは、人間の顔をガラスの塊であらわしたり、多様な表現が見られました。

池田 忠宏 記

「ガレ」の作品は、フランスのエミール・ガレは植物や昆虫などをモチーフにした斬新な作品が多く、エナメルと金箔を使った花器のそのデザインと色使いは美に見事なものでした。また

ました。また、日本の草分け的な岩田藤七と各務鑛三の作品は柔らかい味のある素晴らしいものでした。目で楽しめた展示会でした。

池田 忠宏 記

初夏を感じる5月24日、平塚市美術館に17名が集合しました。

多くの作家の中、フランスのエミール・ガレは植物や昆虫などをモチーフにした斬新な作品が多く、エナメルと金箔を使った花器のそのデザインと色使いは美に見事なものでした。また

池田 忠宏 記



5月23日に今年度最初の歩く会が8名の参加で、史跡「江川邸」と世界遺産の「葦山反射炉」見学が行われ

会 史跡の伊豆の国市を歩く 世直し江川大明神 沿岸防衛で砲台や銃砲製造



平塚MAC「会」5月例会 伊豆葦山 江川邸 2016.05.23.

熱心な説明がありました。

7月21日です

自邸内にパン窯を 築いてパンを焼く

パンの日の誕生

江川英龍は身長が一八五センチもある大きな人で、民から「世直し江川大明神」と敬われ、初めて種痘を行い領民を天然痘から守ったと言われています。また日本の置かれた立場を深く憂慮し、東京湾のお台場に沿岸防衛のための砲台や葦山にある銃砲製造のための反射炉を造りました。

驚いたのは自邸内にパン窯を築いて、パンを焼いて乾パンのような保存性の高いものを作り、兵糧として用いたと言われています。初めてパンを焼いた4月12日が「パンの日」になったということでした。

国産の材料と技術で 造った反射炉に感銘

造った反射炉に感銘

江川邸からはタクシーで葦山反射炉へと移動しました。反射炉では世界遺産になったこともあって、炎天下でボランティアガイドの熱心な説明がありました。

歩く会担当 記

当面のスケジュール

- 6月22日 (水) サロン会
- 7月1日、8日、15日、22日 (金) 囲碁を楽しむ会
- 7月7日 (木) パークゴルフの会
- 7月7日、28日 (木) パソコン勉強会
- 7月9日 (土) 料理を楽しむ会
- 7月27日 (水) サロン会
- 7月27日 (水) 学習会

国産の材料で自分たちの技術で反射炉を造った先人の技術と努力に感銘するばかりでした。

昼食後、当初はパノラマパークのロープウェイで雄大な富士山を望む予定でしたが、しかし天気の良いが災いし、モヤがかかり富士山が望めないとのことで、伊豆長岡温泉の日帰り温泉に浸かって、疲れをとり帰路につきました。好天に恵まれ過ぎた、絶好の歩く会日和でみなさん大満足でした。